

所属・資格 国文学科・准教授

申請者氏名 武内 佳代

研究課題		三島由紀夫文学における女性表象に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究では、1950年代から60年代の三島由紀夫の小説や戯曲において、女性がどのように描かれているかを戦後の雑誌・新聞メディア状況を加味しつつ、ジェンダー批評の観点から解き明かすものである。
	研究の結果	今年度は主に1950年代半ばごろに女性誌メディアに連載された三島由紀夫文学、および、大岡昇平文学における女性表象についての検討を行い、活字化して発表した。三島の『女神』の女性主人公の表象については、新たに連載誌『婦人朝日』の特徴との響き合いを明らかにすることができた。また、大岡の第二の「姦通小説」である『雌花』の女性表象についても、連載誌『婦人公論』の問題意識の取り込みを解明できた。
	研究の考察・反省	本研究はいずれ書籍のかたちでの公刊を目指している。ゆえに今年度は上記のほかに、三島由紀夫の『複雑な彼』も研究対象にする予定だったが、研究会の小発表程度の成果しか上げられなかった。これが大きな反省点である。来年度は、この『複雑な彼』について、雑誌誌面との関わりについて調査、検討し、論文化しようと考えている。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>【研究発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武内佳代「動物と亡霊の饗宴—澁澤龍彦『高丘親王航海記』にみるメタフィクション—」 第6回 東アジアと同時代日本語文学フォーラム 2018 上海大会、復旦大学（中国・上海）、2018年10月21日 	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>【研究成果物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武内 佳代「三島由紀夫と『婦人朝日』—『女神』の憂鬱」 （『日本古書通信』83(4), 2018年4月）16-17頁 武内 佳代「大岡昇平『雌花』と『婦人公論』——姦通小説ブームのただなかで」 （『語文』第163輯、日本大学国文学会、2019年3月）※校正済み、掲載予定 	